

第三編

土木・交通・国土調査



# 第一章 土 木

## 第一節 道路・橋梁

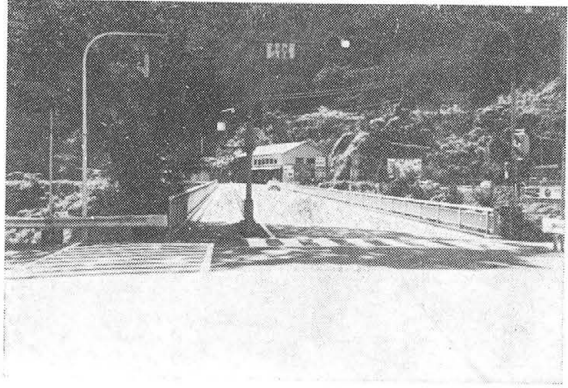
### 一 国 道

美川村の国道といえは、国道三三号線である、この国道の起点は高知市で、終点は松山市である、愛媛県側は昭和三四年八月に着工され、四一年に改良工事が完成している。完成後も毎年計画的な改良に合わせて、ストーンガードなどの落石防止工事が施され、安全でしかも快適な国道となったが、諸車の交通量は年を増すごとに増加し、大型化とスピード化する現状で交通事故防止に心を痛める時代となってきた。

地域住民の切なる願ひであった歩行者のための歩道が、昭和五三年度に日野浦の成河へ、五四年度に大川の梨の下りへ、五六年度には、美川大橋の左岸橋台から村営住宅の間に完成し、住民の喜びは格別のものがあつた。またこのころ、美川村のシンボル御三戸嶽を見ようと美川大橋に降り立つ観光客が増加し、危険度の高かつたここにも五六、五七年度の二か年で歩道橋が完成し、安心して観光ができるようになった。このような建設省の温かな心遣いにより地域住民に親しまれる国道となっている。

## 二 県 道

さて、美川村の県道は、まず主要地方道、西条・久万線である。この路線は久万・面河線として古くから石鎚登山道路また、面河溪の観光道路として住民に親しまれてきた。昭和四五年石鎚スカイラインの開通に伴い、毎年度計画的に道路の改良が進められ、春は新緑、夏は霊峰石鎚登山、秋は紅葉と、年ごとに観光客が増加し活用度が最



(国道) 美川大橋に掛かる歩道橋



(特一) で改良された面河村境近くの(主) 西条久万線

も高い路線である。主要地方道のもう一つは、久万・池川線で、この路線は前に、池川・久万線といわれていて、高知県池川町民との交流をもたらした唯一の路線である。地域住民の利用度も高く、現在も国道三三号線の代替道路とした機能を持つ重要な路線であり、昭和五七年四月主要地方道に昇格し、久万・池川線と改名されて、道路の改良が逐次進められている。

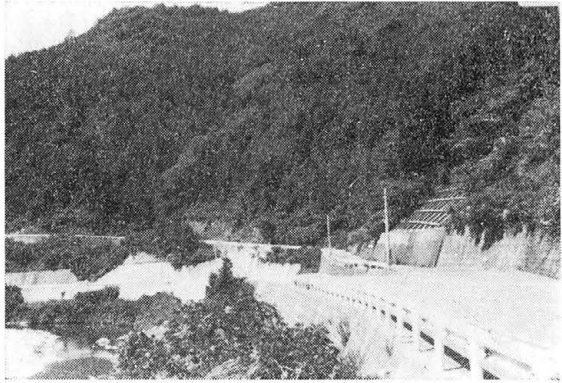
ほかにも、一般県道美川・川内線、美川・小田線、美川・松山線、柳谷・美川線の四路線があり美川村民の重要な県道で逐次改良されている。このうち柳谷・美川線は旧路線を美川嶺・公園線といい、美川嶺に、南国としては比較的降雪状態がよいことから昭和三五年に多くのかたがたの、御協力により美川スキー場が開発され、爾来スキー場まで道路が延長し、また、美川嶺を越え柳谷村の林地まで開通して五四年一〇月柳谷・美川線と改名、その後、国鉄バスの乗り入れなど車の大型化などにより、道路の改良が進み、現在もなお大川嶺自然公園への主要路線となっている。

県道舗装事業は、昭和四〇年ごろから家屋連担地区から逐次舗装され四九年三月現在の県道舗装率は四五パーセントであった。その後も舗装が進められ五九年三月現在の県道舗装率は八四パーセントとなっている。

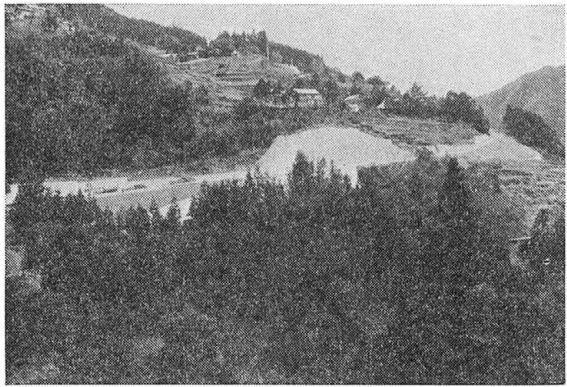
### 三 村 道

昭和五五年から村道台帳の整備が進められ、現在までの道路が見直されて、五七年一月二〇日の美川村議会において村道の認定が行われた、路線番号、路線名は別表のとおりである。

これら村道についての主な土木工事の施行状況を示すと別表のとおりであるが、道路改良工事について、あげて



山振で開設された村道蕨打線（上の道）



山振で開設中の村道面河立野線

災害復旧工事を含めて五五年までの六か年をもって、八九七メートル、事業費一億四六五五万円で美川中央中学校校門まで開設されている。

次に程野・仕出線が、昭和五二年から五四年の三か年で六〇七メートル、事業費八四八〇万円で改良、天神線が、五四年から五八年までの五か年で五二五メートル、事業費一億六〇〇万円で改良が行われている。また、宮中寺の前線が五五年と、五七年、五八年の三か年で一七一メートルの、事業費二四九〇万円で、西古味・野尻線が五

みると、まず沢渡線である。この路線は昭和四五年から山振法による特認事業で着手し、四八年まで改良が進められ沢渡の入口に達していた。その後も引き続いて昭和四九年から五一年までの三か年に、三五三メートル、二〇三六万円の事業費で改良が行われている。

続いて、蕨打線が山振法により昭和五〇年から五一年の

第1章 土 木

村道一覧表

路 線		番 号	
番号	一 級 村 道	番号	そ の 他 村 道
20	成河・藤社線	15	栄重線
50	岩屋線	17	ノウ谷線
53	蕨打線	18	田之元線
		21	成河・大谷線
		22	藤社線
		23	平井線
		24	中黒岩・沢渡線
		27	鳩岩線
		30	堤・久主ノ下線
		33	七鳥・程野線
		34	七七鳥・箇城線
		36	中瀬線
		37	横山口線
		38	古味・中学校線
		39	河崎線
		40	東川中学校線
		41	東川・下ノ谷線
		42	井手口線
		43	片山線
		44	三和線
		45	中村山線
		48	長瀬線
		49	竹谷・慎谷線
		51	竹谷線
		52	御三戸・蕨打線
		54	久主ノ下線
		55	尾貝線
		56	尾貝・札立線
		57	三次田線
		58	荒瀬・山田線
		59	漆田線
		61	河口・下組線
		63	黒田線
		64	植田線
		65	八幡橋・室崎線
		66	梨ノ下線
		67	梨ノ下組線
		68	寺の前線
		69	中通・豊久線
番号	二 級 村 道		
7	長崎線		
16	面河・立野線		
19	成川線		
25	中黒岩旧道線		
26	惣津山線		
28	御三戸線		
29	御三戸・荒瀬線		
31	程野・仕出线		
32	仕出线		
35	西古味・野尻線		
46	箕川線		
47	沢渡線		
60	河口線		
62	黒田保・程野線		
番号	そ の 他 村 道		
1	古床線		
2	釣井線		
3	清水・堂ヶ森線		
4	久主線		
5	中組線		
6	天神線		
8	三岩線		
9	二篁線		
10	沢渡・二篁線		
11	二篁支線		
12	木地線		
13	長崎・信木線		
14	長崎・コラキレ線		

七年から五八年の二か年で、一七二メートル、事業費一五八〇万円で改良、なお継続して改良が進められる予定である。

次に、面河・立野線であるが本改良工事は、昭和五六年に県の補助により、三〇メートル余りを事業費一〇〇〇万円で改良されている。五七年以降は山振法により、この路線の改良を県が代行して進めていただき、五七年、五八年に四八四メートル、八五二〇万円の事業費で改良され、なお継続して改良が進められる予定である。

続いて舗装工事の主なものを取りあげると次のとおりである、まずは成河・藤社線でこの路線の舗装は、昭和四九年から五三年までの四か年で一九六二メートル、二七五〇万円の事業費で完成している。

次に、木地線であるが、この路線は置俵からテレビ塔のある山頂までの村道で、現在は箕川からの箕川農道とドッキングし二箇、仕七川間の便利な唯一の路線であり、昭和五一年から五八年にかけ舗装工事が続けられ、二二二四メートル、事業費四五六〇万円が投じられているが、まだ山頂部分が未舗装である。

舗装工事継続中の路線は、程野・仕出線、沢渡線がある、程野・仕出線は、昭和五五年から五八年までに一〇四五メートル、事業費一九六八万円が投じられているが、まだ、未舗装のところが多い。

沢渡線も、昭和五五年から五八年までに、九六四メートルを事業費二四〇〇万円をもって舗装され、なお続けられているが、この路線も未舗装のところが多く残っている。

#### 四 橋 梁

村内の橋梁は、別表に示される四四の橋梁であるが、昭和五〇年、五一年に片山橋が二五〇〇万円で架設、また、五一年、五二年に植田橋が一五〇〇万円で架設されている。そのほか五三年、五四年に成川橋が二九四〇万円で改築が行われていて、五五年にも中村橋が一二〇〇万円で、五八年にも成前橋が、一〇〇〇万円で、それぞれ改築されている。

村道の動向を示すと別表のとおりであるが、道路、橋梁とともに、五七年に数字の変動がある。これは五七年に道路台帳の見直しによるものであり、示しておきたい。



主な土木工事施行状況

実施年度	工 事 名	延 長	幅 員	事業費	備 考
		m	m	千円	
49	御三戸・荒瀬線 橋改良工事	2ヶ所	(5.0)~4.0	2,520	県費補助事業
"	沢渡線 道路改良工事	90.23	(4.0)~3.0	5,300	" "
"	成河藤社線 " " (特一)	245.31	(5.0)~4.0	18,000	国庫 "
"	御三戸・荒瀬線 舗装工事	278.00	3.3~6.0	3,980	県費 "
"	平井橋 改築工事	78.3	2.75	13,850	" "
"	成河・藤社線 舗装工事	254.0	3.5	3,000	" "
"	" "	196.0	3.5	2,500	" "
"	東川・中学校線 " "	263.0	2.5	3,000	" "
"	河崎線 " "	162.0	4.0	2,000	" "
"	惣津山線 " "	327.0	3.5	5,000	県費貸付事業
"	沢渡 小規模舗装工事	270.0	1.5~3.1	1,500	県費補助事業
"	平井線 道路災害復旧工事	18.0		1,070	国庫 "
50	成河・藤社線馬門 舗装工事	430.0	2.6~7.2	5,000	県費 "
"	西古味・河口線長瀬 " "	260.0	2.3~13.3	3,000	" "
"	沢渡線 道路改良工事	213.5	3.5	10,000	" "
"	成 小規模舗装工事	273.5	1.3~2.5	1,780	" "
"	蕨打線 道路改良工事	68.5	4.0	12,000	国庫 "
"	成河・藤社線 舗装工事	302.0	2.6~4.9	5,000	県費 "
"	東川下ノ谷線 " "	197.0	2.6~6.8	3,000	" "
"	清水堂ヶ森線 小規模舗装	675.0	0.7~4.0	4,000	" "
"	大谷線本組 " "	785.0	1.3~2.0	4,000	" "
"	河崎線 道路災害復旧工事	21.0		2,978	国庫 "
51	蕨打線 防護柵工事	30.0	H3.0	1,420	村単事業
"	沢渡線 道路改良工事	50.0	4.0	5,059	県費補助事業
"	成河・藤社線 舗装工事	480.0	3.5	7,000	" "
"	木地線 " "	143.7	2.7~7.3	3,000	特別債

実施年度	工 事 名	延 長	幅 員	事業費	備 考
		m	m	千円	
51	蔵打線 道路災害復旧工事	27.9		7,650	国庫補助事業
"	御三戸・蔵打線 舗装工事	193.5	1.7~4.1	2,500	県費 "
"	置俵 道路改良工事	61.5	3.0	5,000	" "
"	成河・藤社線 舗装工事	146.5	A 725.8㎡	2,000	" "
"	東川・下ノ谷線 " "	191.0	A 616.8㎡	2,900	" "
"	三岩線 " "	239.6	A 802.9㎡	4,300	" "
"	木地線 " "	104.0	A 405.5㎡	1,600	" "
52	程野・仕出線 道路改良工事	30.61	4.0	5,699	村単事業
"	防護柵工事 " "	40.0		2,000	" "
"	藤社・大谷線 道路改良工事	107.0	3.0	10,000	県費補助事業
"	尾貝・札立線 小規模舗装工事	710.0	2.0	5,000	" "
"	程野・仕出線 道路改良工事	77.53	4.0	9,000	" "
"	程野・仕出線 道路及橋災害復旧工事	74.30	4.0	5,983	起債事業
"	木地線 舗装工事	321.0	3.1~7.0	5,000	県費補助事業
"	程野・仕出線 道路改良工事9ヶ所	135.3		13,133	村単事業
"	中瀬線 " "	130.0	3.5	10,000	県費補助事業
"	程野・地藏堂線大川下 組小規模舗装工事	659.0	1.8~2.0	5,000	" "
"	清水・堂ヶ森線黒藤川 " "	600.0	1.6~2.0	3,500	" "
"	荒瀬・田渡野瀬線 道路災害復旧工事	13.5		1,602	国庫 "
"	成河・藤社線 " "	36.0		4,055	" "
"	程野・仕出線 道路改良工事	37.55	4.0	7,000	県費補助事業
"	道路災害復旧工事 " "	70.0	4.5	3,512	国庫 "
"	山振代行 蔵打線開設工事	164.0	4.0	30,000	" "
53	程野・仕出線 (特改) 道路改良工事	129.6	4.0	10,000	" "
"	程野・仕出線 " "	44.0	4.0	7,000	県費 "
"	尾貝・札立線 小規模舗装工事	550.0	1.5~2.0	5,000	" "
"	西古味・野尻線 道路災害復旧工事	11.0	4.0	1,485	国庫 "

第1章 土 木

実施年度	工 事 名	延 長	幅	員	事業費	備 考
53	久主ノ下・中学校線	m		m	千円	
	" "	12.0		4.0	1,582	国庫補助事業
"	程野・仕出線	15.0		4.0	1,492	" "
"	" "	20.0		4.0	1,754	" "
"	藤社・大谷線 道路改良工事	58.0		3.0	6,000	県費 "
"	成川橋 橋梁改築工事	26.0		4.0	18,000	" "
"	木地線 舗装新設工事	453.0			6,000	" "
"	箕川線	375.0			4,000	" "
"	井手口線	347.0			8,000	" "
"	竹谷・大味川線 小規模舗装工事	180.0			3,000	" "
"	東古味線	70.0			1,740	" "
"	馬門・合戦線	800.0		1.5	5,000	" "
"	元井谷線	200.0		1.5	1,880	" "
"	中組線 道路改良工事	187.8		3.0	20,000	" "
"	長崎ヨラキレ線 道路災害復旧工事	12.0			1,295	国庫 "
"	程野・仕出線	13.0			1,342	" "
"	" "	44.0			3,794	" "
"	" "	32.0			2,485	" "
"	成河・藤社線 舗装新設工事	154.0		3.0	3,000	県費 "
"	栄重・藤社線 小規模舗装工事	710.0		1.5	4,860	" "
"	山振代行 蕨打線道路改良工事	213.0		4.0	33,000	国庫 "
54	程野・仕出線 道路災害復旧工事	35.0			6,034	" "
"	" "	45.0			4,931	" "
"	" "	35.0			3,522	" "
"	" "	45.0			3,220	" "
"	成河・藤社線	15.0			1,964	" "
"	黒藤川・中組線 生活道路修繕工事	77.7			1,479	村単事業
"	木地線 舗装新設工事	253.0		3.5	5,000	県費補助事業

実施年度	工 事 名	延 長	幅	員	事業費	備 考
54	黒藤川・中組線 道路改良工事	179.56	m	m	千円 20,000	県費補助事業
"	高山線 小規模舗装工事	290.0		1.5	1,780	" "
"	天神線 道路改良工事	121.0		3.5	20,000	" "
"	程野・仕出線 "	44.0		4.0	16,000	" "
"	尾貝・札立線 小規模舗装工事	350.0		1.5	5,000	" "
"	尾貝・本組線 "	113.0		2.3~3.0	1,000	" "
"	本組・大谷線 "	388.0		2.0	4,100	" "
"	蕨打線 道路改良工事	293.6		4.0	36,000	国庫 "
"	程野・仕出線 道路特殊改良工事	109.1		4.0	17,000	" "
"	西古味・野尻線 道路災害復旧工事	11.5		3.0	1,252	" "
"	御三戸・荒瀬線 "	22.0			3,283	" "
"	成線 成川橋改築工事	26.0		4.0	11,400	県費 "
55	程野・仕出線 道路災害復旧工事	24.0			1,675	国庫 "
"	" "	48.0			5,253	" "
"	" "	25.0			2,274	" "
"	蕨打線 道路改良工事	158.37		4.0	27,900	" "
"	中線 "	97.89		3.5	10,000	県費 "
"	中村橋改築工事	17.4		3.0	12,000	" "
"	栄重・中黒岩線 小規模舗装工事	540.0		1.5~2.0	4,400	" "
"	木地線 舗装新設工事	380.0		3.0	6,000	" "
"	程野・仕出線 "	270.0		3.0	6,000	" "
"	久主ノ下・中学校線 道路災害復旧工事	10.0			1,454	国庫 "
"	木地線 "	34.0		4.0	4,738	" "
"	天神線 道路改良工事	170.88		3.5	20,000	県費 "
"	宮中・寺ノ前線 "	55.0		3.0	7,900	" "
"	沢渡線 舗装新設工事	350.0			6,000	" "
"	程野・仕出線 道路災害復旧工事	12.0			1,140	国庫 "

第1章 土 木

実施年度	工 事 名	延 長	幅 員	事業費	備 考
		m		千円	
55	程野・仕出線 道路災害復旧工事	11.0		2,451	国庫補助事業
"	" " "	22.0		3,170	" "
"	西古・味野尻線 " " "	22.0		1,835	" "
"	久主ノ下・中学校線 道路改良工事	50.0	4.0	4,000	県費 "
"	天神線 " " "			8,000	村単事業
"	道路排水処理工事 " " "			1,550	" "
"	平和橋塗装工事 " " "	62.4	A 419.7	1,250	" "
56	長崎ヨラキレ線 道路災害復旧工事	10.0	3.6	1,651	国庫補助事業
"	西古・味野尻線 " " "	11.5	3.0	1,177	" "
"	成河・藤社線 " " "	6.0	4.0	1,085	" "
"	久主ノ下・中学校線 道路改良工事	50.0	4.0	6,050	県費 "
"	天神線 " " "	96.22	4.0	20,000	" "
"	荒瀬・田渡野瀬線 " " "	80.14	4.0	10,000	" "
"	栄重・中黒岩線 小規模舗装	300.0	1.8	4,000	" "
"	木地線 舗装新設工事	152.1	4.0	6,000	" "
"	西古味・野尻線 道路災害復旧工事	18.0		1,922	国庫 "
"	下ノ谷線 " " "	10.0		1,175	" "
"	蕨打線 下水道整備工事	172.9		6,000	県費 "
"	面河・立野線 道路改良工事	30.14	4.0	10,000	" "
"	天神線 " " "	15.0	3.0	3,000	村単事業
"	沢渡線 舗装新設工事	145.0	4.0	5,000	県費補助事業
57	天神線 道路改良工事	102.1	3.5	30,000	" "
"	程野・仕出線 舗装新設工事	219.0	4.0	5,000	" "
"	沢渡線 " " "	160.0	4.0	5,000	" "
"	木地線 " " "	166.5	4.0	5,000	" "
"	長崎線 " " "	222.0	4.0	7,000	" "
"	成河・藤社線 道路修繕工事	20.0	4.0	3,400	国庫 "

実施年度	工事名	延長	幅員	事業費	備考
		m	m	千円	
57	有枝線 土留工事	30.0		3,900	県費補助事業
"	沢渡線 道路災害復旧工事	35.0	5.0~6.0	7,612	国庫 "
"	宮中・寺ノ前線 道路改良工事	59.0	3.0	7,000	県費 "
"	西古味・野尻線 " " "	42.47	3.0~4.0	5,000	" "
"	栄重・中黒線 小規模舗装工事	230.0	1.8	3,000	" "
"	程野・仕出線 道路災害復旧工事	10ヶ所 116.5	4.0~7.4	15,299	国庫 "
"	梨ノ下線 舗装新設工事	42.0	3.0~4.0	2,000	県費 "
58	成河・藤社線 道路修繕工事	9.0	鋼管杭	4,250	県費 "
"	栄重・中黒岩線 小規模舗装工事	131.0	1.8	2,200	" "
"	程野・仕出線 舗装新設工事	234.1	4.0	5,000	" "
"	沢渡線 " " "	145.0	3.0~4.0	3,000	" "
"	蕨打線 " " "	502.1	A2, 276.9㎡	8,000	" "
"	木地線 " " "	251.5	A1, 285.0㎡	8,000	" "
"	程野・仕出線 " " "	145.0	A 651.0㎡	3,000	" "
"	沢渡線 " " "	164.0	A 838.8㎡	5,000	" "
"	御三戸・荒瀬・三次線 舗装修繕工事		A 442.0㎡	1,000	村単事業
"	荒瀬・山田線 " " "		A 281.0㎡	1,523	" "
"	天神線 道路改良工事	19.80	3.50	5,000	県費補助事業
"	宮中・寺ノ前線 " " "	57.86	3.0	10,000	" "
"	西古味・野尻線 " " "	125.99	3.0~4.0	10,800	" "
"	成河・藤社線 " " "	125.64	4.0	12,350	" "
"	添田線 成前橋改築工事	8.44	4.0	10,000	" "
"	東古味 下水路工事	28.7		1,296	村単事業
"	橋梁修繕 (塗装工事)	4ヶ所	228.8㎡	1,117	" "
"	程野・仕出線 道路災害復旧工事	20.0	4.0~5.0	3,231	国庫補助事業
"	長崎ヨラキレ線 " " "	3ヶ処 41.0	3.5~4.5	5,818	" "

第1章 土 木

橋梁一覽表

整理番号	橋 梁 名	備 考	整理番号	橋 梁 名	備 考
1	前 川 橋	○	25	七 鳥 橋	○
2	梅 之 瀬 橋	○	26	井 手 口 橋	○
3	リ ヨ ウ シ 谷 橋	○	27	ユ グ チ 橋	○
4	ビ キ イ シ 橋	○	28	片 山 橋	○
5	長 崎 橋	○	29	三 和 橋	○
6	ヨ ラ キ レ 1 号 橋	○	30	中 村 大 橋	○
7	〃 2 〃	○	31	簀 川 橋	○
8	〃 3 〃	○	32	長 瀬 橋	○
9	〃 4 〃	○	33	楨 谷 橋	○
10	〃 5 〃	○	34	岩 屋 寺 橋	○
11	成 川 橋	○	35	極 楽 橋	○
12	成 橋	○	36	上 黒 岩 橋	○
13	馬 足 谷 橋	○	37	岩 瀬 戸 橋	○
14	オ ツ ケ ゴ 橋	○	38	荒 瀬 橋	○
15	イ モ ツ ケ 橋	○	39	成 前 橋	○
16	平 井 橋	○	40	有 枝 橋	○
17	沢 渡 橋	○	41	河 口 橋	○
18	桂 ガ 谷 橋	○	42	植 田 橋	○
19	向 谷 橋	○	43	成 谷 橋	○
20	惣 津 山 橋	○	44	宮 中 橋	○
21	御 三 戸 橋	○			
22	程 野 橋	○	15m以上	構造図有り	○
23	平 和 橋	○	15～5m	〃 〃	○
24	イ ノ 橋	○	5～2m	構造図無し	○

## 村道の動向

年	道		路	橋 梁	
	総 延 長	うち車道 (幅2m以上)	舗装延長	箇所数	延 長
昭和50	163,455m	28,239m	5,938m	84	1,162m
51	163,409	30,072	7,329	81	1,148
52	162,394	29,328	7,959	76	1,085
53	162,394	29,328	7,959	76	1,085
54	161,363	30,229	7,959	76	1,088
55	161,363	30,229	9,952	76	1,088
56	161,363	30,585	10,780	76	1,088
57	61,512	37,470	27,747	42	859
58	62,623	38,581	27,760	43	872

## 第二節 林業土木

### 一 林 道

林道の開設は、森林組合の事業として進められてきたが、昭和四八年ころから村が事業主体となった林構林道、民有林林道などの公共林道も開設されるようになり、生産基盤がいつそう拡充されてきた。

開設状況は別表のとおりである。

なお、県が事業主体となって開設されている林道もあって、一つは昭和五十年から開設の、広域基幹林道西谷・日野浦線で、幅員四メートル、延長八九〇二メートル、事業費の累計額が八億一三〇〇万円ともなっているが、昭和五九年度も引き続いて開設の予定である。

もう一つは、昭和五三年から県単で開設を始めた、林道トロメキ・稲村線であるが、昭和五四年からは公共の普通林道トロメキ・稲村線として五八年まで村が事業主体で開設され、トロメキ組まで開通した、地元民の喜びはたいへんなもので開通祝賀会が盛大に催された。

この林道を過疎代行で開設していただくようたびたび陳情し、お願い





大谷線開設状況（民有林林道）



県営による広域基幹林道西谷日野浦線開設状況



県営による過疎代行林道トロメキ・稲村線開設状況

していたところ、これが実現し、昭和五九年度から過疎代行林道トロメキ・稲村線として、県が事業主体で開設していただくこととなった。

併せて昭和四九年からの林道災害の復旧状況は別表のとおりである。

美川村開設林道一覧表

(昭和59年度調べ)

年度	内訳		幅員	延長	事業費	地区名	摘要
	路線名						
昭和43~58	大谷線		m	m	千円	日野浦	43. 44. 森林施行 56. 57. 58. 村施行
44~55	平井線		3.00	2,947.4	47,500	日野浦 沢渡	44~51まで 森林組合施行
45~58	水押イシヨブ ネ線		4.00	6,923.2	408,966	東川	45~52まで 森林組合施行
48~51	藤社支線		4.00	1,519.0	39,047	日野浦	林構
48~58	イグイ横山線		4.00	4,068.1	365,194	東川	48~52まで 林構
49~56	西谷線		3.00 2.80	1,875.6	98,000	"	49~53森林施行 54~56間伐
51~	下組線		3.00	1,500.0	2,000	大川	
53~58	トロメキ稲村 線		4.00	2,678.1	274,842	黒藤川	53 県単
56~58	惣津山線		3.00	1,773.7	48,000	中黒岩	56森林組合施行 57. 58間伐
56~58	長崎線		4.00	2,460.0	86,000	黒藤川	林構
56~58	有枝線		4.00	1,736.0	122,000	有枝	
計				31,145.2	1,613,619		

林道災害復旧事業

(昭和59年度調べ)

年度	内訳		幅員	延長	事業費
	路線名				
昭和49	信木線		3.60m	45.0m	1,022千円
51	イロノトウ線		3.00	40.0	2,690
54	水押イシヨブネ線		4.00	22.0	2,162
57	" " "		4.00	28.0	760
"	" " "		4.00	15.0	4,326
"	中村線		3.00	37.0	1,053
"	平井線		3.00	10.0	802
"	イロノトウ線		3.00	13.0	922
"	有枝線		4.00	28.8	926
58	イグイ横山線		4.00	23.0	1,648
"	大谷線		4.00	26.0	566
計				287.8	16,877

地すべり防止地域指定工事施行状況

地 域 名	指定年月日	指 定 面 積	累 計 事 業 費	
二 中 簀 仕 高 黒 沢 合 大 上 上	黒 筥 岩	34. 1. 29	22.90ha	2,249千円
	黒 川	35. 8. 13	27.50	199,749
黒 藤	出 山	35. 8. 13	20.90	187,590
	川	35. 8. 13	11.40	16,128
沢 合	山 川	36. 5. 24	20.60	74,214
	渡 戦	36. 5. 24	13.60	—
大 上	谷 谷	36. 5. 24	33.50	29,818
	谷 岩	36. 5. 24	19.50	717
上	黒 岩	37. 12. 6	12.30	3,443
	黒 岩	42. 3. 31	5.83	2,871
計	11 地 区		244.13	592,807

### 第三節 国土保全

昭和三三年に地すべり防止法が制定され、本村においては昭和四八年までに一一地区が防止地域として指定され、地すべり地帯の防災工事が本格的に実施されるようになり、累計事業費は一億六八〇〇万円になっていたことは御承知のとおりであるが、その後も一一地区の指定地が変わりはないが毎年巨費が投じられ、五八年までの累計事業費は五億九二〇〇万円を超えている。

各地区の工事施行状況は別表のとおりである。

いっぽう砂防法によって施行される事業においても、前記事業とともに重視され、昭和四八年から五八年までに簀川、大川、大谷川など合わせて九か所の工事が施行されて、総事業費が二億一八〇〇万円となっている。

## 第二章 国土調査

### 第一節 地籍調査

#### 一 完了近し

当初一〇か年の計画でスタートした地籍調査事業も、計画どおりの進捗は無理であった。現在調査中の大川左岸地域の調査結果を昭和六〇年度末に登記所に持ち込むことによって、一六年に及ぶ本事業にもやっと幕が下りる。

本誌の刊行に当たり、ここに着手以来の実績を掲げて本事業のまとめとした。

なお、本事業の目的、必要性などの基本的な事項については、昭和五〇年三月刊行の「美川村二十年誌」に詳しいので、本誌ではその重複を避けたい。

#### 二 地籍調査の実施状況

地籍調査事業の全国の実施状況は、昭和五九年度現在で二九・五パーセントだという。国土調査法の施行が昭和二六年だから決して高い実施率とはいえないが、普通その狭隘が嘆かれている日本国土も、地籍調査という立場から見れば、気の遠くなるようなたいへんな作業を必要とする広さである。とうてい一挙に調査を完了することは



国土調査県検査風景

きないのだから、多くを期待することは無理なことなのかも知れぬ。  
しかし、都市周辺の開発地域及び近く開発が予定されているような地域は、調査を急がないと、地域社会が崩壊したり形質の広域変更が進行してからでは調査は不可能となりはしないだろうか。それはそれとして、愛媛県下の実施状況を見てみよう（表1参照）。

現在愛媛県には一二市四四町一四村合計七〇の市町村が存在するが、昭和五九年度までに全域を完了したのは四一・四三パーセントに当たる二九町村である。目下三一の市町村が調査中であり、これが完了すれば八五・七一パーセントの高率となる。未実施の町村もそのうち着手の見込みのようであり、やがては全県実施の運びとなろう。

### 三 調査の結果

地籍調査によって面積がどう変わったか興味のあるところであるが、表2・3の地籍調査実施前後の地域別と地目別の筆数・面積比較表をご覧いただきたい。

田の面積が調査後増えているのは畦畔を含んでいるためもあり、畑が減少し山林が増加しているのは時代の反映であろうか。長狭物欄の道は道路、水は川、谷、水路などであり、公衆用道路が調査後無くなってい

表1 愛媛県地籍調査事業実施状況表（昭和五九年度）

（愛媛県農林水産部農政課調）

全域完了した市町村			計画区域のみ完了市町村			調査を実施中の市町村			未実施市町村		
市町村名	着手年度	完了年度	市町村名	着手年度	完了年度	市町村名	着手年度	完了年度	市町村名	着手年度	完了年度
一宮窪町	三二年度	三七年度	一松山市 (旧余土村)	二八年度	二八年度	一東予市	三七年度	六二年度	一別子山村		
二弓削町	三九	四五	二今治市 (旧富田村)	二九年度	三〇年度	二大洲市	四四	七九	二川内町		
三岩城村	四五	五〇	三新居浜市 (旧角野村)	二八年度	二九年度	三美川村	四五	六〇	三松前町		
四上浦町	三五	四三	四西条市 (市街耕地のみ)	三八年度	四七年度	四丹原町	四五	六九	四魚島村		
五明浜町	三七	四六	五宇和島市 (旧宇和海村)	四八年度	五六年度	五砥部町	四七	六〇			
六宇和町	三二	四六	六北条市 (離島部残)	四八年度	五八年度	六三間町	四八	六一			
七野村	三四	四八				七三崎町	四八	五九			
八城川町	二八	三九				八瀬戸町	四九	五九			
九吉田町	二九	三七				九波方町	四九	六〇			
一〇御荘町	三九	四七				一〇西海町	四九	五九			
一一城辺町	三九	四八				一一小田町	五〇	六四			
一二一本松町	三八	四七				一二双海町	五〇	六二			
一三関前村	四七	五一				一三中山町	五〇	五九			
一四大西町	四六	五二				一四三瓶町	五〇	六二			
一五広見町	三八	五三				一五面河村	五一	六五			

第2章 国土調査

二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六
柳	河	大	菊	生	保	伊	吉	内	五十	久	肱	松	小
谷	辺	三	間	名	内	方	海	海	崎	万	川	野	松
村	村	島	町	村	町	町	町	村	町	町	町	町	町
四	四	四	四	五	四	四	四	四	四	三	四	四	三
六	三	〇	七	三	八	七	四	八	五	三	一	〇	八
五	五	五	五	五	五	五	四	三	三	三	三	三	三
七	七	七	六	五	五	五	五	三	三	三	三	三	三

三一	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六
土	中	重	新	伊	津	伯	伊	川	朝	長	八	九	八	七	六
居	島	信	宮	予	島	方	予	之	倉	浜	幡	田	子	川	日
町	町	町	村	三	町	町	市	江	村	町	浜	村	町	町	村
五	五	五	五	島	五	五	五	市	五	五	市	五	五	五	五
九	七	七	七	五	七	六	五	五	四	三	三	二	二	一	一
七	〇	三	七	七	二	六	七	〇	三	二	六	二	二	八	二
四	〇	三	七	八	二	六	七	〇	三	二	六	二	二	八	二

表2 地籍調査実施前後の地域別筆数・面積比較表

地 域 名	地 籍 調 査 前		地 籍 調 査 後		地籍調査実施前後の面積変化の比率 %	
	筆 数	面積(ha)	筆 数	面積(ha)		
有七東仕沢黒日中上大	枝	4,454	293.33	3,200	889.84	303.36
	鳥	4,026	556.30	3,190	1,110.60	199.64
川	出	8,434	1,177.26	7,237	2,895.40	245.94
	渡	2,768	256.78	2,190	408.19	158.96
藤野黒	川	2,237	191.68	1,580	275.52	143.74
	浦	7,327	2,893.42	6,578	2,664.91	0.92
岩	岩	10,411	744.97	8,404	2,067.92	277.58
	岩	2,996	139.00	2,367	322.20	231.80
大	川	5,204	327.95	3,487	614.51	187.38

るのは、長狭物扱いとしたためである。筆界未定地とは、関係者の紛争などにより公示した調査期間内に筆界が確認できず、やむをえず筆界未定地として処理したものである。

#### 四 お世話になったかた

昭和四五年度に着手以来、一五年間にお世話になった調停委員、協力員の数は延べ二三五名に上る。本事業が近く完了を迎えることのできるのには、これらの多数のかたがたのおかげであり、ここに氏名を掲載し(表4参照)、その御協力に対し心からお礼を申し上げる。

#### 五 調査費用はどのくらい

本事業の経費負担の割合は、国が六分の四、県と村が六分の一ずつと法定されており、これを超える経費はすべて村費負担となる。ちなみに、昭和四五年度から昭和五九年度までの事業費総額は約四億九五〇〇万円、うち国庫補助金が約一億九六〇〇万円、県補助金が約四九〇〇万円であり、村の負担割合は五一パーセントに及ぶ。



第2章 国土調査

表3 地籍調査実施前後の地目別筆数・面積 (ha) 比較表

地域 筆数 面積 地目	有 枝				七 鳥			
	調 査 前		調 査 後		調 査 前		調 査 後	
	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積
田	761	14.21	462	19.02	280	6.91	192	9.86
畑	1,558	80.84	637	31.25	1,997	166.88	819	33.77
宅 地	235	4.08	160	4.45	261	4.93	268	7.43
塩 田								
鉦 泉 地								
池 沼	1	0.04						
山 林	1,753	192.07	1,790	805.98	1,303	366.27	1,799	997.09
牧 場								
原 野	6	0.21	123	3.78	39	2.73	59	1.84
墓 地	47	0.43	20	0.43	109	0.43	33	0.66
境 内 地	1	0.12	1	0.05	3	7.98	6	7.00
運河用地								
水道用地								
用悪水路								
溜 池	1	0.03	3	0.10			4	0.02
堤								
井 溝								
保 安 林								
公道 衆 用 路	87	1.22			33	0.16		
公 園								
雑 種 地	3	0.05	4	0.06	1	0.01	10	0.31
学校用地	1	0.03						
長 狭 物				道 10.68 水 14.04				道 42.19 水 10.11
筆 未 定 界 地			3	0.35			31	0.32
合 計	4,454	293.33	3,200	889.84	4,026	556.30	3,190	1,110.60

地域 筆数 面積 地目	東 川				仕 出			
	調 査 前		調 査 後		調 査 前		調 査 後	
	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積
田	1,387	41.00	1,012	58.40	622	14.59	264	17.64
畑	3,543	314.04	1,397	59.37	1,036	79.46	393	21.22
宅 地	543	11.51	468	14.15	86	2.24	85	2.85
塩 田								
鉦 泉 地								
池 沼	2	0.02						
山 林	2,507	729.46	3,404	1,740.22	854	157.50	1,314	337.88
牧 場								
原 野	60	9.54	339	11.67	65	2.31	98	3.72
墓 地	153	0.87	37	0.98	32	0.20	20	0.23
境 内 地	1	0.16	6	0.55			2	0.08
運河用地								
水道用地								
用悪水路								
溜 池	3	0.25	11	0.60	2	0.02	2	0.05
堤	4	0.03	7	0.01	35	0.04		
井 溝								
保 安 林	79	68.79	506	905.45				
公 衆 用 路	139	1.24			33	0.38		
公 園								
雜 種 地	9	0.19	46	0.95	3	0.04	12	0.20
学校用地	4	3.16	4	3.95				
長 狭 物				道 32.69				道 16.32
筆 界 地			60	水 47.09			6	水 6.97
未 定 地				19.34				1.03
合 計	8,434	1,177.26	7,237	2,895.40	2,768	256.78	2,190	408.19

第2章 国土調査

地域 筆数 面積 地目	沢 渡				黒 藤 川			
	調 査 前		調 査 後		調 査 前		調 査 後	
	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積
田	503	12.91	272	18.38	1,167	34.05	758	39.81
畑	830	47.15	296	14.31	3,238	189.39	1,260	55.37
宅 地	64	1.68	66	2.18	309	6.95	320	10.47
塩 田								
鉱 泉 地								
池 沼								
山 林	746	124.57	795	225.06	2,340	1,402.70	3,769	1,675.42
牧 場								
原 野	56	2.74	115	4.58	94	4.65	228	6.22
墓 地	21	0.08	15	0.14	76	0.27	72	0.50
境 内 地	1	0.08	1	0.06	2	1.12	3	0.24
運河用地								
水道用地								
用悪水路					8	0.01		
溜 池	4	2.25	3	2.08	1	0.03	2	0.07
堤	10	0.03	10	0.01	21	0.49	11	0.47
井 溝								
保 安 林					18	1,253.01	101	810.10
公 衆 用 路					15	0.05		
公 園								
雜 種 地	2	0.19	7	0.27	3	0.06	42	0.63
学校用地					35	0.64	12	1.04
長 狹 物				道 3.32 水 4.48				道 23.46 水 41.08
筆 未 定 界 地			10	0.65			33	0.03
合 計	2,237	191.68	1,580	275.52	7,327	2,893.42	6,578	2,664.91

地域 筆数 面積 地目	日 野 浦				中 黒 岩			
	調 査 前		調 査 後		調 査 前		調 査 後	
	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積
田	1,678	55.41	1,037	66.55	616	14.65	330	15.69
畑	4,196	196.72	1,462	69.39	1,075	42.92	353	10.90
宅 地	469	8.92	385	11.74	104	2.32	81	2.55
塩 田								
鉦 泉 地								
池 沼			1	0.14				
山 林	3,560	462.86	4,435	1,113.95	965	76.77	1,348	251.53
牧 場								
原 野	123	6.08	659	31.08	43	0.59	195	7.38
墓 地	71	0.27	56	1.13	16	0.09	13	0.26
境 内 地	5	0.34	3	0.37	1	0.17	4	0.13
運河用地								
水道用地			4	0.04			2	0.01
用悪水路	68	0.25						
溜 池	5	0.19			1	0.04	4	0.66
堤					76	0.32		
井 溝								
保 安 林	56	10.48	286	562.71			7	0.73
公 衆 用 路	123	1.61			80	0.62		
公 園								
雜 種 地	55	1.70	75	38.04	19	0.51	30	0.84
学校用地	2	0.14	1	0.65				
長 狹 物 界 地				道 57.01 水 65.69				道 11.87 水 19.65
筆 未 定			53	49.43				
合 計	10,411	744.97	8,404	2,067.92	2,996	139.00	2,367	322.20

第2章 国土調査

地域 筆数 面積 地目	上 黒 岩				大 川			
	調 査 前		調 査 後		調 査 前		調 査 後	
	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積
田	780	18.07	322	16.50				
畑	1,703	87.55	363	10.97				
宅地	328	4.24	175	5.94				
塩田								
鉱泉地								
池沼								
山林	1,809	207.32	2,238	503.79				
牧場								
原野	87	1.74	234	5.60				
墓地	79	0.28	39	0.51				
境内地	1	0.11	3	0.41				
運河用地								
水道用地			5	0.09				
用悪水路	40	0.20						
溜池								
堤	39	0.21						
井溝								
保安林	21	2.23	31	3.27				
公道衆用路	297	5.20						
公園								
雜種地	16	0.61	74	3.61				
学校用地	4	0.19	3	1.54				
長狭物 筆未定 界地			42	23.22 34.72 4.34				道水
合 計	5,204	327.95	3,487	614.51				



第2章 国土調査

岡近阿向西客昭和  
田藤川井脇脇五  
清正正龜留一  
一雄光郎造均  
船船中桜上栄山梅大西村片福吉昭  
草草山木田代内木西岡上岡田力田和  
融浩登義男一男利秀秀良藤力市〇  
男男男男男男男男男男男男男男男男  
年年度度度度度度度度度度度度度度度  
音已

西天竹佐山宮岩山天近岡阿向西客  
本野崎藤口城市村野藤田川井脇脇  
集房嘉正晴馬政清次見雄勝光郎均  
優平晴集愛愛愛愛愛愛愛愛愛愛愛愛  
昭  
和  
五  
年  
度

山口中高昭  
岩田田橋和  
雄松静夫四  
玉市高窪鶴渡倉渡成倉大松中  
井川山田居部橋部川橋野下田橋  
万太郎勇信稔夫夫誠博男雄亮茂松  
夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫  
昭  
和  
五  
年  
度

渡岡竹漆十  
辺林口田川  
政武涉智  
城城土篠松三高古  
山山居崎浦好橋見  
楠節岩由義伯岩敏  
男夫雄広員位雄男  
昭  
和  
五  
年  
度

山大山西昭  
崎東下岡和  
隆貞喬男五  
大岡山山上安大統岡漆十  
野田中田宅南木林田川  
福憲信国徳武智嘉  
督稔信一広太郎延男智太郎  
昭  
和  
五  
年  
度

片佐林植大土谷滝丹西土山水昭  
山ヶ山田田居岡内波山井下野和五  
百茂一勝一和幸杉清野九  
一喜男昭成孝優登雄夫喬隆年  
昭  
和  
五  
年  
度

表5 地籍調査事業費調

(単位 円)

事業年度		45	46	47	48
調査地域		有上 黒 枝 岩	有枝 七鳥 上 黒 岩	七 東 鳥 川	東 川
取 入	国庫補助金	1,282,000	7,420,000	7,072,000	8,666,000
	県補助金	320,500	1,855,000	1,768,000	2,166,500
	村費	3,988,013	2,895,880	10,169,928	12,822,953
	計	5,590,513	12,170,880	19,009,928	23,655,453
	内法定事業費	1,923,000	11,130,000	10,608,000	12,999,000
支 出	報酬				57,800
	給料	1,746,010		4,032,146	5,477,274
	職員手当	891,664		1,769,236	2,943,793
	共済費	325,961		736,723	982,912
	災害補償費				
	貸金	65,000	377,000	639,600	957,100
	報償費				76,000
	旅費	267,390	252,790	262,760	252,180
	需用費	199,718	264,267	364,473	369,369
	役務費	950		2,000	
	委託料				12,158,200
	使用料及び 貸借料	38,990	55,070	46,390	36,870
	工事請負費	1,950,000	10,673,420	11,073,000	
	原材料費				
	備品購入費	35,000	365,580	83,600	159,311
	負担金補助 及び交付金	69,830	182,753		184,644
	公課費				
計	5,590,513	12,170,880	19,009,928	23,655,453	



第2章 国土調査

(単位 円)

事業年度		49	50	51	52
調査地域		東 川	仕出 沢渡 日 野 浦	黒 藤 川	黒 藤 川
取 入	国庫補助金	12,764,000	11,442,000	14,816,000	19,690,000
	県補助金	3,191,000	2,860,500	3,704,000	4,922,500
	村 費	17,887,509	20,554,588	19,427,364	22,914,432
	計	33,842,509	34,857,088	37,947,364	47,526,932
	内法定事業費	19,146,000	17,163,000	22,224,000	29,535,000
支 出	報 酬	75,000	188,100	164,500	136,000
	給 料	7,407,900	8,585,400	9,080,400	9,605,500
	職員手当	4,232,840	5,125,430	5,279,410	5,621,490
	共 済 費	1,353,876	1,617,285	1,765,475	1,867,037
	災害補償費		3,598	8,784	6,456
	賃 金	1,226,940	2,011,970	2,401,000	2,006,400
	報 償 費	106,800	39,000		85,500
	旅 費	282,890	314,760	376,840	520,740
	需用費	437,043	598,895	619,095	698,049
	役 務 費			1,000	
	委 託 料	18,472,000	16,074,000	17,710,000	26,613,000
	使用料及び 賃 借 料	5,600	18,050	21,660	31,660
	工事請負費				
	原 材 料 費				
	備品購入費	22,000	24,300	267,000	
	負担金補助 及び交付金	219,620	256,300	252,200	335,100
	公 課 費				
計	33,842,509	34,857,088	37,947,364	47,526,932	

(単位 円)

事業年度		53	54	55	56
調査地域		日 野 浦 黒 藤 川	日 野 浦	中 黒 岩	上 黒 岩
収 入	国庫補助金	29,618,000	16,810,000	10,228,000	9,352,000
	県補助金	7,404,500	4,202,500	2,557,000	2,338,000
	村費	20,899,369	19,207,084	21,819,942	22,550,064
	計	57,921,869	40,219,584	34,604,942	34,240,064
	内法定事業費	44,427,000	25,215,000	15,342,000	14,028,000
支 出	報酬	184,500	171,000	115,000	163,500
	給料	8,516,400	9,115,200	9,676,500	10,438,100
	職員手当	4,769,486	5,277,240	5,646,420	5,724,570
	共済費	1,727,904	1,867,394	2,480,868	2,696,817
	災害補償費	7,892	8,260	4,713	
	賃金	2,996,400	2,374,160	1,507,000	1,603,700
	報償費	35,000	66,000	50,000	105,000
	旅費	599,690	480,230	412,180	506,340
	需用費	805,971	845,260	928,761	734,127
	役務費	51,066	39,550		53,000
	委託料	36,401,200	19,635,000	13,572,000	11,990,000
	使用料及び 賃借料	38,260	10,790		1,810
	工事請負費				
	原材料費				
	備品購入費	1,382,300	29,000		
	負担金補助 及び交付金	397,000	291,700	211,500	223,100
	公課費	8,800	8,800		
計	57,921,869	40,219,584	34,604,942	34,240,064	

第2章 国土調査

(単位 円)

事業年度		57	58	59
調査地域		上 黒 岩	大 川	大 川
収 入	国庫補助金	9,936,000	16,908,000	17,808,000
	県補助金	2,484,000	4,227,000	4,452,000
	村 費	21,899,817	16,783,451	18,722,031
	計	34,319,817	37,918,451	40,982,031
	内法定事業費	14,904,000	25,362,000	26,712,000
支 出	報 酬	137,500	148,500	162,000
	給 料	11,539,800	6,959,350	9,126,900
	職員手当	6,393,762	3,936,440	5,641,230
	共 済 費	2,931,430	1,794,906	2,349,600
	災害補償費			
	賃 金	1,519,420	2,456,000	1,680,000
	報 償 費	50,800	65,000	65,000
	旅 費	557,660	442,210	307,010
	需 用 費	689,645	1,466,845	1,772,464
	役 務 費		182,610	407,327
	委 託 料	10,059,000	19,408,000	18,968,000
	使用料及び 貸 借 料		399,990	
	工事請負費			
	原 材 料 費	140,000	175,000	175,000
	備品購入費	72,500	165,900	
	負担金補助 及び交付金	228,300	308,900	318,700
公 課 費		8,800	8,800	
計	34,319,817	37,918,451	40,982,031	

なお、現時点では事業が完了していないので全事業費の把握ができないのだが、事業完了の昭和六〇年度末の総事業費は五億円を超えるものと思われる（表5参照）。

## 六 すつきりした地籍

幾多の不備欠陥を内包していた現存地籍も、この調査によって地番も新しくなったし、地目も現況と一致し、正確な面積が測定されて明確になると同時に、従前からの大字と小字が取り除かれてたいへんすつきりした。これは法律に定められた手順を踏んで廃止されたものであるが、最後に残った大川地域の大字、小字を廃止するに際し、いったいどんな小字が幾つくらいあるものかという興味を抱いたので、大川の右岸（南側）地域に限って調べてみると、二五四八筆中に四三一種類の小字（表6参照）があった。

表をご覧いただくとおわかりのように、これが実に紛らわしく、永年なじんできただけに、その小字名を聞く位置の見当がつきやすいなどの利点はあるものの、土地誤認の危険性もあり、誤登記の原因ともなりかねなかったものだ。

表6 昭和五八年度調査地域内（大川右岸）小字名一覧

あ	アカイワ谷西	赤岩	アセフカ畦	イノカウ子	イワイゲ谷
アラザレ	アカ岩谷西	穴神	い	岩井ケ谷	イワイカ谷
アカ岩	アリノ木	アナ神	イワタケ山	岩井ケ谷	イワイケ谷
アカイワ	アリノキ	アナガミ	イケノトウ	岩井谷	犬婦リ
アカ岩谷東	有ノ木	アセブカウ子	池ノ峠	岩谷ケ谷	犬ガエリ
アカ岩タニ東	アリキ	アセブカ畦	イケノト	岩井カタニ	石本

第2章 国土調査

石本向	ウハカミ	大フケ	カラストマリノ	カラヒ向	クマノト
石本ノ向	お	ヲニフケ	東方	上影浦後	クホチ
石本向イ	大下チ	大川口東方	カラストマリ	上影浦表	久保チ
イワセト	大トチ	落ノ前	カラストマリ東	上影浦	クルス
岩瀬戸	ヲ、ナル	ヲチノ前	方	影浦	窪
う	大ナル	大石谷	烏ノ泊西方	窪浦前	窪ノ前
ウチタ	ヲクシヨ	大石谷川	カラストマリ	窪浦表	窪肥
ウワイデ	ヲソハカナル	大石谷東方	西方	窪浦後	窪肥ノ南
ウハイデ	ヲソバケナル上	大石谷西方	烏ノ留	窪浦東脇	窪肥後
ウハ井手	大石ノ本	大石谷石ノ方	烏ノトマリ	窪浦林	窪肥上
ウハミツノ元	大石之本	大石谷石ノ元	上ウシロ	川込	久保
梅ノ木表	大東下	大石谷口中ウ子	カラトクチ向	き	久保西
梅ノ木	大東下モ	大石谷井手ノ上	カヤノキ向	キジカワ	久保ノ西
梅ノ木前	大東前	大石谷井手上下	ガヤノキ向	キシカワ	久保ノ前
梅ノ木川	大東宅地前	大石谷道上	カネノキノモト	キチカワ	こ
梅ノ木南	大東	大石谷道上	カワラノウチ	キカワノ上	コウモリタキ
漆谷	追付川	大石谷道下	カラカイ	キジノムコウ	コウモリタキ向
ウルシタニ	大窪川南	大石谷通り下	カケウラ	キジノムカウ	コチヲオ
ウルシダニ	奥所	上松葉	カゲウラ林	キジノムコ	コチヲオ
ウルシ谷	奥ノ谷	頭森	カゲウラ林	キシノムコ	コチヲリ
ウルシ谷西ムキ	ヲクノ谷	河ノ内	カケウラハヤシ	北浦	コチヨク
打田	大ブケ	河之内	カケウラ後	く	コチヨク
浦田表	ヲ、ブケ	狩場表	上カケウラ後	熊ヶ峠	サンシヨノ元
	ヲ、フケ	狩場	カラヒ	熊ノトウ	サ、ワラ
				クマノトウ	坂本向イ

サヤクチ	シャンシヨノモ	ス、レ東方	瀧ハナ	テラタノ道上	中谷通ノ下
酒屋	ト	ス、レ	タロタニ東方	と	中谷上切
酒屋西	下峰	スマレ	タロ谷東方	トウシロ	ナルヤマ
酒屋ノ前	シテンジ	ズマレ	タロ谷	トウヤマ	中居表
酒屋敷	シテンシ	スマレ西ノ方	タロタニ	トッパナ	中居
三百田	シミツ上	ス、レ西方	谷ノ向イ	トッハナ	中除
坂口	下ツユケ谷	そ	タニノ向イ	トチノ木	中ヨケ
坂ノ本	ジョゲヤシキ	惣川内	ツユケナル	トチノキ	中宮下
坂ノ元	城慶屋敷	た	ツユケ谷	土居ノ向	中峰表大道西
サカノ元	シヨケヤシキ	タキヤマ	ツユケ谷	土居ノ向イ	中峰表
三王	チヨケヤシキ	タハラフチ	ツユケタニ	土居向	中峰ノ表
サンワウ	四天地	タワラフチ	ツユケタニ上	土居向イ	中峰ノ北
三王ウエ	新宅	タワラフチ	ケイヤシキ	鷺ノ巢	中峰
三王関の上	新宅後	俵測	土風呂	トビノス	中峰ノ西
サンワウ関ノ上	下露ケ谷	俵測道西脇	土フロ	トヒノス	中井後
サンワン関ノ上	下田道	大黒岩	ツ、フロ通下	トヒカ畦	中居後
三王宮山ノ上	ジロダガヤリ	谷の前	ツ、フロ通上下	トヒカウ子	中居ノ北
三王宮山ノ西	シロタガヤリ	谷南道下	ツ、フロ井手上	な	中フケ
三王井手ノ上	シロタカヤリ	谷道の下	露ケ谷	ナカザキ	鳴瀧
佐屋敷	シロタカヤリ	谷の後	ツクリミチ	ナカサキ	中畦
佐屋口	下影浦後	谷ノウシロ	ツクリ道	ナカノナル	中畦ノ向
佐ヤ口	す	タニノ後	造り道	ナベダキ	ナカウ子
サコ	ズモリ	谷東	ツモリ	ナベタニ	ナカミ子
シャンシヨノ元	ス、ノモト	タキハナ	テラタ道上	中の谷	ナカウ子向イ
				中谷	中ウ子西向キ









んでいる。この地図が地籍図であり、そのまま登記所地図として備え付けられることになるし、簿冊は地籍簿として、登記所はこれに基づいて土地登記簿の記載を改めることになる。

このように、地籍調査の成果は、土地所有者の権利関係を保護する不動産登記制度に寄与することになるとともに、土地の実態が明らかにされ、土地に関するあらゆる施策の基礎資料として広範囲にわたって利活用されることになるのだが、今後特に留意すべき点は、成果つまり地籍図・地籍簿のアフターケアである。

土地に異動はつきものである。そのつど迅速正確な手入れをしないでこれを怠ることがあれば、実態にそぐわなくなるし、長い歳月とばく大な経費を要した成果は、やがては無用の長物と化す。国土庁もこの点について、「地籍簿のアフターケアはできているようだが、地籍図の手入れが不完全だ。全国の地籍調査完了市町村の三二パーセントがアフターケアを怠っている」と指摘しているが、心すべき点である。

**住所番地の変更登記** 地籍調査で地番が新しくなると、それに伴い各個人の住所番地も従前の番地とは異なってくる。戸籍や住民票などは同時に訂正されるのだが、登記簿の表題部に記載された所有者又は所有権登記名義人の表示は、そのまま旧地番で残り住民票の記載と一致しなくなる。といって、このことが即登記そのものに影響を及ぼすものではないのだが、登記名義人が必要に応じ、例えば、なんらかの登記を申請する際などその前提として「登記名義人の表示変更」の登記の申請をして、住民票の住所番地と一致させる必要があるのである。

そこで、「国土調査法による不動産登記に関する政令」では、地籍調査において住所変更の調査をした場合に限り、申請をすれば変更登記が行われる（免税）ことになっており、本村でも登記名義人の申出により、昭和五十一年四月から昭和五九年八月までの間に六六件、一二八二筆の変更についてお手伝いをしてきたところである。今後も

この方針に変わりはないが、本件に関する事務分掌を明確にするとともに、それなりの体制を確立し、併せて住民に対する周知徹底を図らねばなるまい。

